

表紙写真は、多家長支所オクラ部会
山下和夫部会長です。現在57でオク
ラを栽培しており、出荷最盛期を迎え
ています。(7月下旬取材時)

今年には高気温の影響が懸念されていま
したが、品質は良好です。部会全体でも
数量は平年並みで順調です。今後も品質
の維持に向け、定期的な追肥、灌水を徹
底します。

同部会では、オクラの品質を保つため、
袋詰めにした後、通気性の良い専用の「オ
クラ籠」で出荷しています。出荷は10月
下旬まで続く予定です。

猛暑の中で、作業は熱中症の危険と隣
り合わせですが、山下部会長は1回の作
業に4つの冷凍型ネッキングを代わる
代わる使用しながら作業に励みます。山
下部会長は「栽培面では、これから高温
障害によって実が固くなるなどの影響が
出やすい時期。管理を徹底し、高品質な
ものを消費者に届けたい」と意気込ん
でいます。

農機展示商談会 物流フェアを開催

7月19・20日の2日間にわたり農機展示商
談会物流フェアを北部管農経済センターで開
催し、約480名の方々にこ来場いただきま
した。



会場には、トラクター16台・コンバ
イン6台・田植え機3台がずらりと並び、
来場者を圧倒させていました。今年、目
玉となったのは、JA共同購入の51・5馬
力のコンバイン（YH448AEJU・ヤ
ンマーアグリ株式会社）で、来場者は試
乗するなどして、熱心に担当者から話を
聞いていました。

JAでんき相談ブース他、草刈り機・
プロワー・農薬・農具・背負い式噴霧機
等の展示販売が行われ、好評でした。さ
らに、衣類・日用品・寝具・健康器具等、
消費者ニーズに合った生活関連商品を集
め、来場者は手に取って製品を見定め
ていました。

北部管農経済センター吉田稔センタ
ー長は、「猛暑の中、昨年の来場者数を大き
く上回る、大勢の組合員の皆様にこ来場
いただき感謝の気持ちでいっぱいです。
来年もご期待いただきたい。」と話し
ました。

◀写真は、開会式でテープカットを行う、
⑥から⑩手常務、全農とくしま県本部宮田副部長、
伊勢専務、岩井常務、小松常勤監事。



20年ぶりの新紙幣が発行



7月5日、当JAの金融全店舗（8店舗）
の窓口で新紙幣の取り扱いが始まりました。
午前中、徳島信連より輸送された新紙幣が
各店舗に到着し、職員が対応しました。
国府支所では、両替のため来店された利
用者が窓口で新紙幣を担当者から受け取る
様子が見受けられました。組合員の佐藤充寛
さんは「いつもはATMで入出金をしてい
るが、せっかくなので窓口に来てみた。対
応も素早く、新紙幣も美しく清潔な気持ち
になりました」と笑顔で話しました。8店舗
の中で最も来店者が多かった徳島支所では、
45人が新紙幣の両替に訪れ、賑わいを見せ
ました。

JAは、7月よりATM全機械で新紙幣
への対応準備も完了しています。ATMでは
旧紙幣も新紙幣も両方使用することができ
ます。新紙幣の発行に伴い、「現行紙幣が使
えなくなる」などといった誤った情報や振
り込み詐欺への注意喚起として、各店舗に
注意文書を掲示し、利用者への呼びかけを
行っています。

▶写真は窓口で両替する佐藤充寛さん





枝豆を見て 触れて
佐古小学校で出前授業



7月9日、JA徳島市北部営農経済センター 佐藤宏樹営農指導員は、徳島市立佐古小学校で5年生の児童 98名に夏野菜の栽培についての出前授業を行いました。

当JAは徳島市と昨年12月に連携協定を結んでおり、今回の授業は、教育委員会を通じた食育授業の要請から、活動の第1弾として実施が叶ったものです。授業では、主に農家の枝豆栽培について紹介しました。農家が脱莢機で枝から莢を毛取り、選別する映像を観た児童は、「機械ですごく早く実が離れていく。」と驚いていました。また農家で収穫した、枝についたままの枝豆を手に取り、目を輝かせて触れていました。



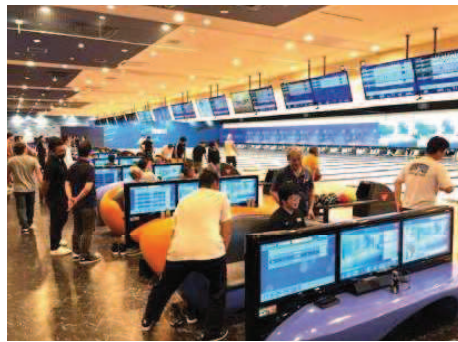
現在、児童は学校の菜園できゅうり、ミニトマト、ナス、オクラ、枝豆などの夏野菜を試行錯誤しながら栽培しており、佐藤営農指導員の話に熱心に耳を傾けました。

さらに児童は、学校で栽培する野菜が枯れてしまった原因を佐藤営農指導員に質問しました。佐藤営農指導員は事前に菜園を確認した上で、それぞれの対策について具体的に回答し、「残念ながら、枯れてしまったものは修復ができないことが多いが、失敗を次に活かし実践することで、得られるものはとても大きい。」と話しました。

青壮年部親睦ボウリング大会



▲養手部長(左)より目録を受け取る団体戦優勝の
国府支所 A チーム代表 多田浩章さん(右)



▲会場の様子

青壮年部(養手達支部長)は、7月26日ラウンドワンで親睦ボウリング大会を開催しました。

各地区から部会員・職員ら18チーム総勢65名が参加しました。大会では、ストライクが決まると各レーンからは歓声が上がリ、大いに盛り上がりました。大会は2ゲームで競い、団体戦は国府支所 A チームが優勝し、個人戦は、北部営農経済センター七條法干職員が優勝しました。

加茂名支所で七夕飾り
若松こども園児童が訪問



加茂名支所では、毎年7月に恒例行事として若松こども園の児童を店舗に招待しています。3～5歳児クラスの児童150名が園で願いごとや絵をかいた短冊を事前に支所職員が笹に飾り付け、7月2日、子どもたちの来所を待ちました。児童は、お礼に七夕の歌を披露し、飾られた自分の短冊を見つけて喜んでいました。

冬には園でお餅つきのお手伝いや、クリスマス会にサンタクロースに扮した職員が園を訪問し、交流を深めています。東支所長は「かわいらしい子どもたちが来てくれ、とても和んだ。これからもJAを身近な存在に感じていただけるよう地域貢献の活動を継続していきたい。」と話しました。

中四国地区JA女性組織リーダー研修会
南井上女性部 松島部長が発表



7月18日、松山市総合コミュニティーセンターでJA全国女性組織協議会、JA中四国地区女性組織協議会が主催する令和6年度「中四国地区JA女性組織リーダー研修会」が開催されました。

研修会は、中四国各県のJA女性組織リーダーが集まり、組織活動体験発表や参加者の話し合いなどを通じ、JA女性組織を取り巻く環境や実践課題を共有し、JA女性組織活動やさまざまな運動の意義や成果を学ぶことで、JA女性組織の新たな飛躍に繋げる方針や可能性について認識を深め、取り組みを進めるための有志結集の場となっています。

体験発表では徳島県代表に選出された南井上女性部 松島由紀子部長が登壇しました。発表テーマは「加工品で絆を深めた女性部活動」でした。松島部長は、当JAの職員時代に女性部事務局を任されたとき、当時の部員の方々から積極的に協力を惜しまず、背中を押してくれたことに感謝し、「部員さんたちに喜んでほしい、何をすれば笑顔の活動ができるのか」と常に思いを巡らせていたことや、農村環境改善センターがオープンし、規格外品を使用した加工品づくりに取り組み、試行錯誤の末、トマトケチャップが完成したときの感動が原点となり、今日まで活動に励んでいること。そして開設から25周年を迎えた「まるなん農産物直売所」の会長に今年度、任命されたことを受け、理解ある家族と温かく接してくれる部員さんに感謝し、共に女性部活動・加工活動に励んでいく意志を発表しました。

完成から 17 年 しいたけ菌床供給センター



平成 19 年に完成した「しいたけ菌床供給センター菌床培養ハウス」では、年間約 70 万の菌床ブロックが生産・出荷されています。

全 7 棟のハウスでは、24 時間空調システムが稼働しており、生産者のニーズに合わせた菌床ブロックの供給を行います。生産者が栽培に 100%の力を注いでいただくことにより、高品質なしいたけ出荷のサポート役を担っています。



120℃の高圧殺菌釜に入れ、5 時間半～6 時間蒸らします。1 つの釜には 720 菌床が一度に投入できます。センターには、2 つの釜があり、1 日に最大 2700 菌床が殺菌できます。

菌床ブロック製造工程



原料



5 種類の広葉樹のチップ・おが粉をフォークリフトでミキサーに投入し、ふすま・栄養分と水を加えてかくはんします。



混ぜ合わせたものを空気孔のついた培養袋に充填します。



培養



ハウス内は、20℃に保たれ菌床が培養されます。菌床は菌が発生する際に熱を持つため、各ハウスでは、常に扇風機をまわして空気の温度を一定にします。



接種



接種室で、殺菌後の菌床へしいたけ菌を接種し、密閉します。



培養袋の変化の様子



15日後

上部から白いしいたけ菌糸が発生しています。



40日後

40 日後の一次蔓延での出荷が全体の 9 割を占めます。



60日後

全体が茶色くなり雑菌に強い状態に仕上がります。これを「褐変」といいます。



120日後

完熟したもので、1 割の出荷がこの状態のものです。



出荷



眉山支所しいたけ部会では、昭和 50 年より県と原木を使用しない菌床しいたけ栽培の研究に取り組み、全国に先駆けて技術が確立されました。

平成 30 年、令和 2 年には、培養ハウスの増設により供給量増大が叶いました。

同センターの川人泰博運営委員長は、「今年で施設増設事業費がすべて償還される。今後はこれまで手を取り合い生産に励んできた部会員へメリットとして還元していけるように精一杯努力したい。」と意気込んでいます。

健康百科

「新型コロナ KP.3 と熱中症について」

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。6 月頃から新型コロナウイルス「KP.3 株」による感染拡大に衰えが見えません。全国の感染状況は、7 月 21 日までの 1 週間で 1 医療機関当たりの平均患者数が 13.62 人で前の週の 1.22 倍となり、11 週連続で増加しています。都道府県別では最多が佐賀県で 31.08 人、徳島県は 16.81 人となっています。厚生労働省は「増加傾向が続いて、これまでもお盆明けが感染拡大のピークだったことを踏まえると、今後も感染者が増えることが見込まれる」としています。

いま主流となっている「KP.3 株」は「オミクロン株」の中の「BA.2」がさらに変異したもので、最初の「武漢株」が生まれてから今の「KP.3 株」に至るまでの変異を全部合わせるとゲノム構造の 0.5～1%を超えているとされています。人とチンパンジーのゲノムの違いが 1%ですので、とても大きな変異が既に起きたこととなります。そのため、当初のウイルスに対して免疫を持っている人でも完全に逃れることはできません。ただし KP.3 株の病原性や毒性は従来株と極端な違いはないため、若い元気な方に感染しても「風邪」症状のみで軽快します。デルタ株までは重度の間質性肺炎により年齢や基礎疾患にかかわらず命を落とすような感染症でしたが、KP.3 株は高齢者や基礎疾患を持つ方が感染することで寝たきりになり誤嚥性肺炎を起こすとか、基の病気が悪化することなどによって命に関わるケースが出ています。

一方で今年の夏は 10 年に一度の猛暑とされ、連日のように熱中症警戒アラートが発表されています。徳島県では 6 月以降の熱中症疑いによる救急搬送者数が 50 人以上となる週が続いていて、特に 65 歳以上の高齢者の方の救急搬送数が多い状況です。熱中症も

徳島往診クリニック 吉田大介

重症になると脱水や異常高体温状態に至り、横紋筋融解症を合併すると急性腎不全から命を落とすこともあります。救命できても、血液透析が必要になったり高次脳機能障害等の後遺症が残ることもあり大変危険です。

やっかいなのは、コロナ感染症と熱中症の初期症状が似ていることです。喉の痛みや咳はコロナに特徴的ですが、倦怠感や発熱・頭痛のみの場合は共通してみられる症状ため、どちらが見分けることが難しくなります。5 類移行に伴いコロナの無料 PCR 検査は終了していますが、抗原検査キットを薬局で購入して使うことはできます。ただし熱発してすぐに抗原検査をしても偽陰性になることがありますので、翌日まで待って検査する方がいいかもしれません。結果が陰性でも家族内にコロナ患者がいるなど、疑わしい場合は医療機関で PCR 検査を受けることもできます。また熱中症による発熱は室温を下げる、冷たい飲み物をとる、それでも下がらなければ首や腋・股などの血管を冷やすことで解熱し再び熱が上がることはありませんが、コロナの場合は熱が下がってもまた上がることで見分けることができます。コロナの発熱の場合はアセトアミノフェンの内服が勧められますが、熱中症の発熱に使用すると副作用が出て危険ですので使用しないよう注意が必要です。

いずれにしても大切なのは予防です。コロナの場合は社会活動の多い若い方が家の中にコロナを持ち込んで高齢者に感染させないために、人混みに行かない・マスクをする・しっかり手洗いをして「風邪」に罹らないようにしましょう。熱中症の予防に関しては、熱中症警戒アラートが発表された場合は、外出をできるだけ控え暑さを避け、部屋の温度に注意しエアコンや扇風機を上手に使った上で、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう。

堆肥の有効利用について

みなさま、堆肥を施用していますか？ 堆肥を施用すると、土壌の物理性・生物性・化学性が改善し、収量や品質の向上、病虫害の抑制等の効果が期待できます。今回は、堆肥の種類や効果に加え、れんこん栽培で実践している堆肥施用方法について、お話しします。

堆肥の種類と効果

有機質資材の肥効を評価するための炭素率「C/N比」
 C/N比がおおよそ20よりも低い → 有機物の分解が早く、肥効が高い
 C/N比が20よりも高い → 有機物の分解が遅く、腐植が増加し、物理性改善効果
 ※腐植とは、土壌中の有機物のうち粗大有機物を除いた、無定形の褐色・黒色の有機物。
 保肥力の向上、団粒構造の形成に効果があるが、栽培を続けていると減少していく。
 〈有機質資材の特徴〉
 ①稲わらや落ち葉などの粗大有機物 → C/N比が高く、物理性改善効果
 ②家畜ふん堆肥やパルク堆肥などの「堆肥」 → 種類によって効果が異なる(下記参照)
 ③油かすや魚かすなどの有機質肥料 → 肥効が高く、生物性・物理性改善効果
 ④緑肥作物 → 物理性改善効果:ソルゴー等、化学性改善効果:レンゲ(肥沃化)、
 生物性改善効果:マリーゴールド(センチュウ抑制)等
 〈堆肥の特徴〉
 ①牛ふん堆肥 → カリがやや高い。堆肥の分解はやや遅い(物理性改善効果)。
 ②豚ふん堆肥 → リン酸が高い。堆肥の分解はやや早い(肥効)。
 ③鶏ふん堆肥 → リン酸が高い。堆肥の分解はやや早く、窒素は速効(肥効)。
 ④パルク堆肥 → 窒素、リン酸、カリが低い。堆肥の分解は遅い(物理性改善効果)。

徳島県のれんこんの現状

資料「農林水産省作物統計」より

かつて生産量は茨城県に次ぐ全国2位であったが、近年は茨城県、佐賀県に次ぐ第3位。



作付面積は維持しているが、
収穫量は減少傾向
7380t(2012年)→4850t(2021年)

れんこん腐敗症状の増加が影響？

反収も他県と比べ低下
2019-2021年は1t/10a以下に

れんこん栽培で認識した「堆肥の重要性」

～収量低下の要因～
 湛水状態での土づくりは難しく、長年にわたり土づくりを行ってこなかった結果、
 地力の低下と連作による病気や生理障害の発生が収量低下の要因の1つとして考えられる。

～土づくりを行う～
 令和4年から徳島市川内町にて、外部の専門家の指導を受け、「コーン堆肥(ブナシメジ等の
 腐菌床堆肥)」施用による土壌の団粒化と土壌微生物の多様化を図る土づくりに取り組んだ。

～堆肥の施用面積～
 令和4年(取組1年目) 5.7ha
 令和5年(取組2年目) 10.8ha

～堆肥施用による効果の実感～
 堆肥を施用した農家のほ場では、取組1年目から
 ①出荷量は、400kg/10a→800kg/10aに増加、
 ②腐敗症率は、70%(前年)→20%に減少したほ場が見られた。
 また、1年目に比べて2年目の方が良くなっているという声や
 継続して土づくりに取り組みたいという声が聞かれた。



左:堆肥あり 右:堆肥なし
堆肥施用した方が生育が良好

堆肥施用による化学肥料の低減

農林水産省データより

堆肥の種類	全窒素含有量 (乾物あたり)	全窒素含有量 (現物あたり)	堆肥の肥効率 (%)		
			窒素	リン酸	カリ
鶏ふん堆肥	2%未満	1%未満	20	80	90
	2~4	1~2	50	80	90
	4以上	2以上	60	80	90
牛ふん・ 豚ふん堆肥	2%未満	1%未満	10	80	90
	2~4	1~2	30	80	90
	4以上	2以上	40	80	90

左下の
堆肥例の堆肥は
鶏ふん、
かつ現物あたり
窒素1.5%のため、
赤枠の数値を使用
する。

※肥効率は、化学肥料の肥効を100とする
 ※現物あたり (%) は、一般的な水分含量50%の堆肥を設定

肥効成分量 = 堆肥の施肥量×成分量×肥効率
 堆肥例 現物あたり窒素1.5%、リン酸2.5%、カリ1.0%、
 水分50%の鶏ふん堆肥を1t/10a施用の場合
 計算例 ・窒素 = 1000kg×1.5%×50%=7.5kg
 ・リン酸 = 1000kg×2.5%×80%=20kg
 ・カリ = 1000kg×1.0%×90%=9.0kg

この堆肥施用により
約窒素7.5kg、
リン酸20kg、
カリ9.0kgの
肥効がある。

無料法律相談
島田清弁護士

日時 第3土曜日 9:00~12:00
 金融共済部へ事前に予約が必要
 申込先 ☎ 088-622-8003
 場所 本所1階金融相談室

無料税務相談
賀上延啓

日時 9月9日(月)、17日(火)、24日(火)
 9:30~15:00
 ※相談日が一部月曜日になりますのでご注意ください。
 申込先 総務部へ事前に予約が必要
 ☎ 088-622-6335
 場所 本所1階金融相談室

理事会だより (令和6年7月25日)

協議事項

- (1) 北部ローンセンター新築工事計画について 【可決】
- (2) ディスクロージャー誌の開示について 【可決】
- (3) 令和5年度徳島県による常例検査に対する回答書について 【可決】
- (4) 出資口数の一部減口について 【可決】
- (5) 3億円超の信用の供与について 【可決】

報告事項

- (1) みのり監査法人による令和5年度監査結果概要報告書について
- (2) 第1四半期の余裕金運用状況報告について
- (3) 第2四半期の余裕金運用方針について
- (4) ヘルプラインの運用実績について
- (5) 苦情等の受付対応実績報告について
- (6) 事務リスク管理規程に基づく事務ミス等の発生状況・自主検査の結果および改善状況について
- (7) 反社会的勢力との取引排除および疑わしい取引の届出等組織犯罪等の防止にかかる対応状況について
- (8) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- (9) JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」について
- (10) 債権回収について
- (11) 理事会決議事項処理状況報告

